

(5月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか類		7,086	95	6,592	224	104	228	-	-	<p>大玉すいかについては、熊本産はやや遅れているが入荷は前年並の見込み。千葉産のハウスものは5月20日過ぎから始まるが、春先の天候不順や面積減の影響によってシーズン始めは入荷は大幅減少の見込み。</p> <p>小玉すいかも入荷ペースは遅れぎみで小玉果が多い。面積も減少しており入荷量は前年を下回る模様。</p> <p>すいか類総体では品薄感を反映し、やや強めの展開。</p>
メロン類		4,459	90	5,002	410	102	438	-	-	<p>アンデスの主力産地は5月中下旬に熊本産から茨城産に移行する。茨城産については、面積と生産量とも前年を下回る予想。さらに、春先の低温、曇天により作況は不良。</p> <p>小玉果傾向であるため、価格の上げは小さい予想。大玉果は引き合いが強まる見込み。</p>
みかん類		168	103	277	1,336	97	1,280	-	-	<p>愛知産は4月9日から、大分産は4月12日から販売開始している。5月は前年並～やや増加する見込み。</p> <p>各地とも今シーズンは休棟者は復活している。</p>
おうとう		234	100	210	2,272	96	2,586	59	25.2	<p>主力山形産は、生育ペースは遅れ傾向。ハウスの栽培面積は加温が横ばいからやや減少し、無加温が増加傾向。着果量は前年並。5月の入荷量は前年並の予想。</p> <p>「母の日」等のイベント前は引き合いは強まるが、価格は前年並～やや安い見込み。</p>
びわ		292	100	227	1,102	106	1,365	-	-	<p>主力長崎産は5月連休明けから露地が始まる。中旬はハウス、露地の併用販売となる。下旬からは露地中心の出回りとなる。</p> <p>千葉産も5月下旬後半から露地に切り替わる見込みだが、春先の曇天・低温により生育は遅れの傾向。</p> <p>本年産のびわは、数量は前年並～やや減少する見込みだが、価格は横ばいの予想。</p>